

## 育児休業取得状況等報告書

### 【企業担当者記載欄】

1 企業名	医療法人社団明照会
2 貴社の取組状況について	
(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 法人として、女性は産休・育休を取得されることが多くなってきたが、男性も人生の中の大きな出来事である「自身の子の誕生・子育て」に積極的に関わってもらいたいという思いから、希望があれば取得できるように体制を整えてきた。	
(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 子の誕生が予定される男性からの希望があった場合に、実際にどのような形で休業を取得することが可能か（現場的な目線の事柄や、制度的なこと等）を一緒に考え、相談に乗ってきた。今回のケース以前にも取得実績あり。	
(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 休業を取得する場合、他の職場の人に負担をかけてしまうのではないかと気がちになることが多いと思うが、育休に限らず従業員の様々な私的な出来事に対して法人としてできるだけ本人の希望の勤務時間に添えるように配慮している。	
(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 普段より複数名で業務の情報を共有しておくことに努めている。休業中に他の従業員への負担が心配・不安となったり、休業後の復帰時の弊害を心配することが多いため、双方の合意の上で休業中も業務内容の連絡ツールで情報を共有するなど、できるだけ負荷のない形で行えるようにした。	
(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 実際に取得した実績を従業員へ広く周知し、新しく取得を考える際になるべく取得しやすい職場を目指したいと思う。	

### 【対象従業員記載欄】

#### (注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。

1 育休取得期間	通算 30 日間
2 育児休業の取得について	
(1) 育児休業を取得したきっかけ 核家族であり、各両親共に離れたところに住んでおり里帰りも行わない予定であった為。	
(2) 育児休業を取得して良かったこと 育児の大変さを実感することができたこと。 育児休業中の妻の体調不良時にすぐに対応できたこと。	
(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 事前に打ち合わせを行い、社内トーク（情報連絡ツール）を休業中も確認できるようにし、情報が遮断されないようにしていた。	
(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること できるだけ家族との時間を大切にするために、業務の効率化を図り、残業を減らしていこうと考えるようになったこと。	
(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス ぜひ積極的に取得してほしいと思う。 出産立ち会いから育児まで夫の協力が非常に大切だと感じた。育児休業を取得したことで子供や妻の普段の様子も知ることができ、休業中に家事を優先的に行ったことで職場復帰後も気持ちに余裕ができ、妻の家事への負担が減ったと感じる。	